資料5

東部振興構想中間見直し（案）
2022～2031年度

人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち
～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

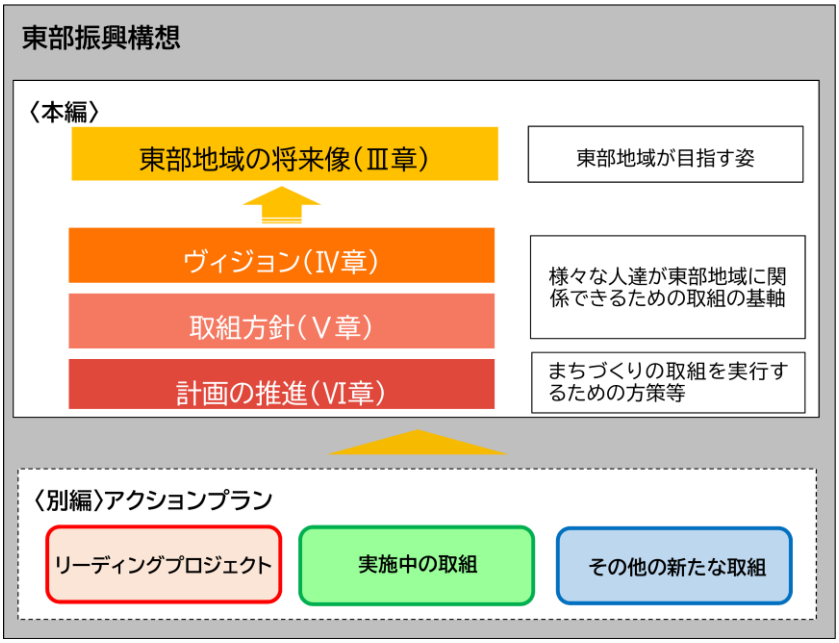
【概要版】

キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

計画の構成や期間

構成　東部振興構想で定める「東部地域の将来像」や「ヴィジョン」の実現のため、具体的な取組を示す「アクションプラン」を別に定め、まちづくりを進めます。

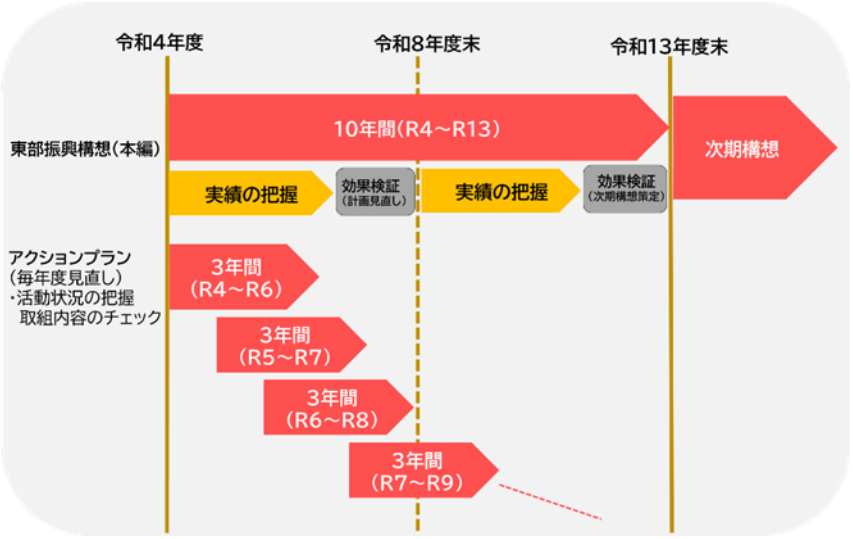
　アクションプランは、東部地域のまちづくりを先導的に進める「リーディングプロジェクト」、既に取り組んでいる「実施中の取組」、その他の新たに実施するプロジェクトである「その他の新たな取組」の３つのカテゴリーで構成し、毎年見直しながら、その後3ヵ年の取組をまとめていくことで、実効性を高めます。



期間　**2022年度（令和4年度）から2031年度（令和13年度）の10年間**

・ KPI（重要業績評価指標）を設定し、 まちの状態を5年ごとに検証します。

ＫＰＩ（重要業績評価指標）	基準値（基準年）	目標値（令和８年）	目標値（令和１３年）	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※１５歳～６４歳	58.4% (R2)	54.0%	50.7%	国勢調査データを基に算出します。



まちづくり５原則（基本的な考え方）

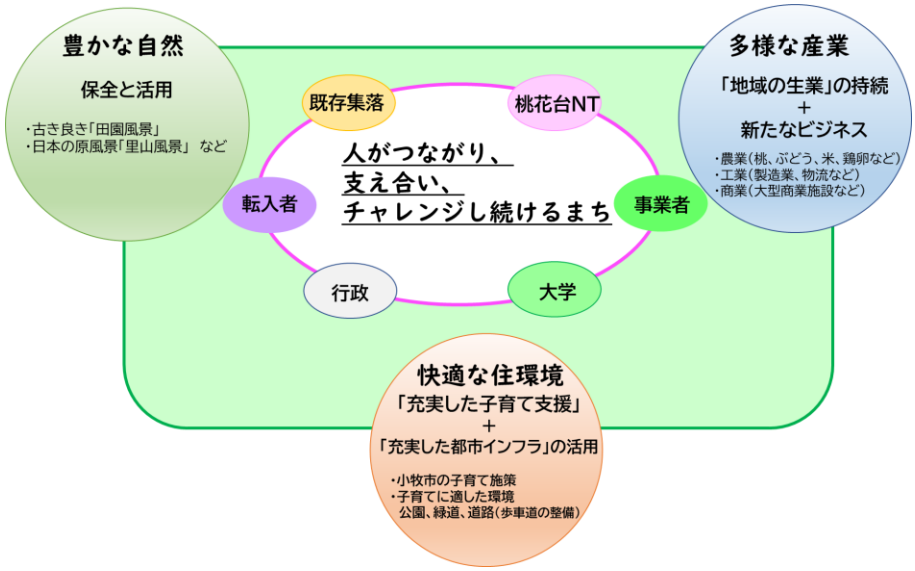
東部地域のまちづくりを進めるうえで、根底となる考え方を5原則で表したものです。
この5原則を意識し、まちづくりを進めます。

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり
柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

東部地域の将来像

人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち
～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

東部地域全体が持続的に発展し続けるまちとしていくため、自然、住環境、産業が共存し、地域住民、事業者、教育機関、行政、その他関係者が連携・協力し、東部地域が一体となり、夢と希望を持って、新たなまちづくりへチャレンジしていくまちづくりを進めます。



ヴィジョンと推進方針

東部地域の将来像（基本理念）に掲げる理想のまちの実現に向け、居住者、就業者、来訪者や転入者などまちづくりの中心となる「人」に焦点をあてた次の3つのヴィジョンを定め、「計画の推進」によりまちづくりを進めていきます。

ヴィジョン１

多様な人が暮らし続けられるまち

様々な人たちが世代・国籍を越えてつながり、充実した都市インフラの有効活用も図りながら、地域住民、事業者、行政等が連携・協力していつまでも暮らし続けられる環境を整備していくことを目指すものです。

ヴィジョン２

多様な職業が共存し、持続できるまち

人のつながりにより多様な職業が共存し、持続できる環境の整備を進めることで、他にはない魅力を備えるまちとしていくことを目指すものです。

ヴィジョン３

訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち

地域の魅力発信や地域資源を活用した取組に加え、新たな住民を受け入れる雰囲気を醸成し、まちを楽しむイベントの創出など、住みたくなる環境をつくり、「モノ」「ヒト」「コト」の魅力を向上することで、この東部地域を今より魅力あるまちに創造していくことを目指すものです。

推進方針

まちを育む体制の構築

まちを育む体制を構築するため、3つの方針に沿って体制づくりを進めます。

推進方針１　人と人がつながる仕組みづくり
推進方針２　地域活動が続く仕組みづくり
推進方針３　構想の実効性を高める進捗管理

構想の体系

将来像　　東部地域の課題　　ヴィジョン

東部地域の将来像

“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”

～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～

課題❶ 高齢者が安心して健康的に暮らせる環境の整備
・高齢者の安全な外出環境の確保
・高齢者の交流や生活支援の継続

課題❷ 子育て世代にとって魅力ある環境の整備
・子育てを支え合える環境の整備
・世代間交流を通じたこどもの育成支援

課題❸ 若者が住み続けられる環境の整備
・若者の多様な働き方への対応
・住み続けたいと思える環境の整備

課題❹ 互いを認め合い、つながる住民交流の促進
・世代や国籍などを超えた交流と地域活動の推進
・全員で創る地域共生社会の実現

課題❺ 都市インフラの有効活用
・公共空間や未利用地の有効な利活用
・移動しやすい交通サービスの充実

課題❻ 地域の生業が持続・活性化する環境の整備
・新規参入がしやすい仕組みの構築
・多様な連携を通じた農業担い手の確保

課題❼ 新しいビジネスの創出
・起業や新規参入の促進
・空き家などを活用した生活利便施設の充実

課題❽ 地域資源の保全・活用、魅力の向上
・地域資源の継承と活用
・新たな地域資源の発掘と魅力磨き

課題❾ 地域の魅力の発信
・多様な媒体での情報発信
・継続して魅力を伝える仕組みの構築

課題❿ 誰もが住みたくなる住まいの創出
・若年世代から選ばれる住まいの確保
・誰もが安心して暮らせる住環境の整備

課題⓫ 地域コミュニティの活性化と転入者の受け入れ
・新規住民が気軽につながる取組の充実
・温かいコミュニティの育成

1. 多様な人が暮らし続けられるまち
2. 多様な職業が共存し、持続できるまち
3. 訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち

高齢者　①高
子育て世代　②子 魅
若者　③若 環
交流　④互 る住
都市インフラ　⑤都
農業・商工業　①地 活
新規ビジネス　②新
地域資源　①地 魅
情報発信　②地
住まい　③誰 い
住民活動　④地 化

まちづくりの5原則

一体性	東部地域一体のまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多様性・活用性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

取組方針	取組の方向
高齢者が安心して健康的に暮らせる環境の整備	1. 地域で支え合う暮らしの支援体制の充実 2. 健康づくり活動や社会参加機会の充実
子育て世代にとって魅力ある環境の整備	1. 地域でこどもを支えるネットワークの構築 2. 仕事と子育てが両立できる環境の形成 3. こどもと保護者の居場所の確保
若者が住み続けられる環境の整備	1. こども・若者が活躍できる環境の整備 2. 地域活動における担い手を育む環境の整備
互いを認め合い、つながる住民交流の促進	1. 誰もが参加できる住民の交流機会の創出 2. 誰もが地域活動へ参加できる環境の形成
都市インフラの有効活用	1. 公共空間の多目的利活用の促進 2. 誰もが移動しやすい交通環境の構築 3. 未利用地・未利用施設の有効活用
地域の生業が持続・活性化する環境の整備	1. 農業の担い手確保と地域農業を支える仕組みの構築 2. 商工業を支える仕組みの構築 3. 農・商・工・福の連携による地域産業の活性化
新しいビジネスの創出	1. コミュニティビジネスの創出・支援 2. 新たな働き方に向けたチャレンジを支える環境の整備
地域資源の保全・活用、魅力の向上	1. 地域資源を活かした魅力の創出 2. 公園・緑道、スポーツ・レクリエーション施設などを活用した来訪・交流機会の創出
地域の魅力の発信	1. 時代にあった情報発信 2. 地域内外とのつながりを広げる情報発信
誰もが住みたくなる住まいの創出	1. 既存住宅を活用した住まいの確保 2. 安全・安心な住環境の整備
地域コミュニティの活性化と転入者の受け入れ	1. 地域情報に触れる機会の充実 2. 地域に馴染みやすい仕組みの構築

柔軟性・可変性	柔軟性・可変性を持ったまちづくり
将来性	チャレンジをサポートするまちづくり

推進方針

まちを育む体制の構築

推進方針③ 構想の実効性を高める進捗管理

1. 中間見直しの実施
2. 東部まちづくり審議会による点検・評価
3. 進捗の確認

推進方針② 地域活動が続く仕組みづくり

1. スタートアップ支援
2. 好循環の地域経済の仕組みの構築と活性化

推進方針① 人と人がつながる仕組みづくり

1. 中間支援組織の活用・育成
2. プラットフォームの拡充

取組方針と取組の方向（内容）

ヴィジョン1　多様な人が暮らし続けられるまち

取組方針

高齢者　**① 高齢者が安心して健康的に暮らせる環境の整備**

取組の方向

1. 地域で支え合う暮らしの支援体制の充実
2. 健康づくり活動や社会参加機会の充実

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
高齢者	生きがいを持って暮らしている６５歳以上の住民の割合	80.9%（R3）	↗

取組方針

子育て世代　**② 子育て世代にとって魅力ある環境の整備**

取組の方向

1.地域でこどもを支えるネットワークの構築
2.仕事と子育てが両立できる環境の形成
3.こどもと保護者の居場所の確保

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
子育て世代	東部地域に住み続けたい、または住みたいと思う20歳～30歳代の市民の割合	―	↗

取組方針

次世代　**③ 若者が住み続けられる環境の整備**

取組の方向

1.こども・若者が活躍できる環境の整備
2.地域活動における担い手を育む環境の整備

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
若者	若者が参加するプロジェクト数（まちづくりのプロジェクト数）	３件（R4）	↗

取組方針

交　流　**④互いを認め合い、つながる住民交流の促進**

取組の方向

1.誰もが参加できる住民の交流機会の創出
2.誰もが地域活動へ参加できる環境の形成

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
交流	プラットフォームによる交流イベント回数	10回（R4）	↗

取組方針

都市インフラ　**⑤ 都市インフラの有効活用**

取組の方向

1.公共空間の多目的利活用の促進
2.誰もが移動しやすい交通環境の構築
3.未利用地・未利用施設の有効活用

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
都市インフラ	過去1か月以内に公共交通機関を利用している地域住民の割合（直近３ヵ年の平均）	41.9%（R7）	↗

ヴィジョン2　多様な職業が共存し、持続できるまち

取組方針

農業・商工業　**① 地域の生業が持続・活性化する環境の整備**

取組の方向

1.農業の担い手確保と地域農業を支える仕組みの構築
2.商工業を支える仕組みの構築
3.農・商・工・福の連携による地域産業の活性化

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
農業・商工業	果樹栽培サポータークラブ登録者数	24人（R2）	↗

取組方針

新規ビジネス　② 新しいビジネスの創出

取組の方向

1.コミュニティビジネスの創出・支援
2.新たな働き方に向けたチャレンジを支える環境の整備

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
新規ビジネス	東部地域における起業・創業に対する補助件数	6件（R2）	↗

ヴィジョン3　訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち

取組方針

地域資源　① 地域資源の保全・活用、魅力の向上

取組の方向

1.地域資源を活かした魅力の創出
2.公園・緑道、スポーツ・レクリエーション施設などを活用した来訪・交流機会の創出

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
地域資源	東部地域の公園・緑道を活用したイベント回数	102回（R7）	↗

取組方針

情報発信　② 地域の魅力の発信

取組の方向

1.時代にあった情報発信
2.地域内外とのつながりを広げる情報発信

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
情報発信	東部地域魅力発信Instagramアカウントのフォロワー数	―	↗

取組方針

住まい　③ 誰もが住みたくなる住まいの創出

取組の方向

1.既存住宅を活用した住まいの確保
2.安全・安心な住環境の整備

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
住まい	住まいのコンシェルジュにおける相談件数	―	↗

取組方針

住民活動　④地域コミュニティの活性化と転入者の受け入れ

取組の方向

1. 地域情報に触れる機会の充実
2. 地域に馴染みやすい仕組みの構築

参考指標

キーワード	参考指標	基準値（基準年度）	目指す方向（R13年度）
住民活動	過去１年間に市内の公益的活動または区(自治会)や区を単位とした地域活動に参加したことがある地域住民の割合	29.4%（R3）	↗

推進方針　まちを育む体制の構築

推進方針１

人と人がつながる仕組みづくり

１．プラットフォームの拡充

1. まちづくりへの住民の意識醸成
2. つながる場の定着・創出

２．中間支援組織の活用・育成

住民主体のまちづくりを効果的・継続的に進めるため、中間支援組織の活用の検討

推進方針２

地域活動が続く仕組みづくり

１．好循環の地域経済の仕組みの構築と活性化

・東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度
・支え合いいきいきポイントや地域通貨
・活動の報酬やクラウドファンディング　　など

２．スタートアップ支援

・財政支援
・公共空間の活用に対する制限緩和の検討
・土地利用の見直しの検討　　など

推進方針３

構想の実効性を高める進捗管理

１．進捗の確認　**２．東部まちづくり審議会による点検・評価**　**３．中間見直しの実施**